

科目名称 Course title(Japanese)	イノベーション・チーム・ラボ		
科目名称(英語) Course title(English)			
授業名称 Class name	イノベーション・チーム・ラボ(博)		
教員名 Instructor	半谷 精一郎、平塚 三好、牧野 恵美、大西 浩志		
開講年度学期 Year/Semester	2018年度 後期		
曜日時限 Class hours	金曜5限		
開講学科 Department	工学研究科、基礎工学研究科、理学研究科応用物理学専攻		
単位 Course credit	2.0	学年 Grade	1～3年生
科目区分 Course category	一般教養科目	履修形態 Compulsory/Elective	選択必修
概要 Descriptions	<p>日本の経済は大きな曲がり角に入りつつあり、これまでのような大企業がすべてであるといった価値観は通用しなくなっている。その背景にはグローバルエコノミクスがあり、企業活動も集中から分散に変貌していることにある。本学の大学院生に求められることは、その優れた研究力に加え、研究成果を社会に還元できる力と新しいビジネスを立ち上げられる力に他ならない。</p> <p>そこで、研究成果の中にある「シード」を社会に役立て、ビジネスに結びつけるためのビジョンを描けるように、問題の発見とその解決のための考える力を養う。</p> <p>理工学系の複数の専攻からの大学院生が主体となる講義だが、経営学部の学部生にも入ってもらい、専門領域と年齢が異なる学生とが協力してプロジェクトを進める力を身につける。</p>		
目的 Objectives	将来、起業家あるいは大企業内のプロジェクトリーダーとなって日本を支え、持続的に発展させることができるようになるために、研究成果を社会に還元できるイノベーション力と経営者となるための力を養うことを目的として、本講義を設ける。		
到達目標 Goals	<ul style="list-style-type: none"> ・起業家やプロジェクトリーダーになる上での基本的な知識を身につけることができる。 ・専門性の高い技術シーズの内容を十分理解し、研究者に適切な質問ができる。 ・技術シーズで解決できそうな問題を見つけ出し、具体的な解決策を提案できる。 ・専攻が異なる学生とグループワークを通して、チーム力によって問題解決策を提案できる。 ・インタビューを通して、第三者に意見を求めることができるようになる。 ・ビジネスコンテストに応募して、プレゼンテーションできるようになる。 		
履修上の注意 Course notes pre requisites	<p>本講義は葛飾キャンパスで開講される。ただし、一部の講義は神楽坂キャンパスからの遠隔講義形式となる可能性がある。</p> <p>定員は40名とし、希望者が多数の場合には抽選となる。</p> <p>グループワークを含むので、毎週必ず出席できることが前提となる。したがって、初回の講義を欠席した場合には、原則として履修できない。</p> <p>LETUS上で配布する資料を内容を理解の上、当日持参すること。出席して聴講し、討議に参加し、レポート提出を行うことで成績評価する。なお、講義中に電子的に回答を求められることがあるので、学内ネットワークを利用できるPCを持参すること。</p> <p>講義中に回答が無い場合には、欠席とみなす。</p>		
準備学習・復習 Preparation and review	LETUS上に事前登録される資料を、予め読んでおくこと。特に英語の資料は、事前に内容を理解しておくこと。		
	レポート提出の指示があった場合には、復習の上必ず提出のこと。		

成績評価方法 Performance grading policy	授業後のLETUS上で行うアンケート20%、レポート80%として評価する。
成績評価基準 Performance grading criteria	S: 到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている A: 到達目標を十分に達成している B: 到達目標を達成している C: 到達目標を最低限達成している D: 到達目標を達成していない
教科書 Textbooks/Readings	事前にLETUS上で配布する資料
参考書 Course material	毎回、必要に応じて指示する
授業計画 Class plan	<p>※講義の順番は、外部講師の都合により変更になる可能性がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 技術を社会に還元することの大切さ 起業の基本的な考え方をビル・ゲーツやスティーブ・ジョブズなど有名な起業家の歴史をもとに振り返り、成功の秘訣を探る。 2. 東京理科大学の研究とシードについて 東京理科大学で行われている研究を概観し、社会に還元できそうな研究室にあるシード「種」を探す。 3. イノベーションと起業 日本における起業家を育てる仕組みと問題点、イノベーションの意味について説明する。 4. ベンチャー企業が考えるべき8つのポイント 起業するうえで考えなければいけないTeam, Market, Product, Customer, Credibility, Business Model, Flexibility, Investorsの8項目について説明する。 5. 東京理科大学にある研究シードの探索(1) 葛飾キャンパスの研究室の中から、イノベーションの種をインタビューしながら探す。 6. 東京理科大学にある研究シードの探索(2) 葛飾キャンパスの研究室の中から、イノベーションの種をインタビューしながら探す。この回でプロジェクトチームを編成。 7. マーケティングの基礎 マーケティングと何か。ゲストスピーカーが解説する。 8. プロジェクトのターゲットとセグメンテーションとは プロジェクトごとに何を目標しているのかを検討する。 9. 製品とサービスの概念 製品とサービスの概念について解説する。 10. プロジェクトの顧客は誰だ 考えている製品やサービスの顧客は誰か。プロジェクトごとに検討する。 11. 知的財産とは何か Credibilityとは何かをPCを使った検索を行いながら、解説する。 12. ファイナンスとビジネスモデル どうやって融資を受けるか、誰からいくら貰うのかというビジネスモデルを解説する。 13. ミニ・プレゼンテーション+応募 プロジェクトごとにビジネスコンペティションへの応募要件をまとめ、ミニ・プレゼンを行う。 14. フィードバックとメンタリング より良いプレゼンができるように、ブラッシュアップを行う。 15. 最終発表会 プロジェクトごとに最終プレゼンを行う。一般の方をお呼びし、様々な観点から評価してもらう。
教職課程 Teacher-training course	
備考 Remarks	この講義は、2016年度にマサチューセッツ工科大学教授のクスmano先生によってデザインされたものである。2017年度からは経営学部と共同で開講している。2018年度からは、複数の専攻の一般教養科目となったために、上限人数を40名とした。
99KTD15	

